

## ニホンザル管理事業実施計画書

令和元年度ニホンザル管理事業実績報告書（県実施分）	．．．．．	p 3～8
令和3年度ニホンザル管理事業実施計画書（県実施分）（案）	．．	p 9～12
令和元年度ニホンザル管理事業実績報告書（市町村分）	．．．．	p 13～22
令和2年度ニホンザル管理事業実施計画書（市町村分）	．．．．	p 23～32

令和2年7月

宮城県環境生活部自然保護課



令和元年度

ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)

令和2年7月

宮城県環境生活部自然保護課



令和元年度ニホンザル管理事業実績

宮城県

R1計画		R1実績		評価
1 被害防除対策	<p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):587万円 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策 (1) 農業被害額:712万円 (参考 H30年度実績:455万円)</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合対策交付金等により8事業実施主体における捕獲等の取組を補助した。 (仙台市,白石市,蔵王町,七ヶ宿町,丸森町,山元町,松島町,加美町)</p> <p>(3) 交付金の活用や被害防止計画作成等への支援、指導を行った</p>	<p>農山漁村なりわい課 被害が増加し、目標を達成できなかった。</p> <p>農山漁村なりわい課 計画通り実施できた。 引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p> <p>農山漁村なりわい課 計画通り実施できた。 引き続き、交付金の活用等について指導、支援を行う。</p>	
2 個体数管理	<p>(1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟,わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準において、群れの再評価を再検討する。</p>	<p>2 個体数管理 (1) 鳥獣被害防止総合対策交付金により、4事業実施主体における有害捕獲やわな購入、研修会開催等を補助した。 (仙台市,山元町,松島町,加美町)</p> <p>(2) 県内全域のポピュレーションのうち、特定の群れの個体数調査。GPS首輪装着による遊動域調査。群れ評価の再検討。</p>	<p>農山漁村なりわい課 計画通り実施できた。 引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p> <p>自然保護課 計画通り実施できた。</p>	
3 生息環境管理	<p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域において、活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p>	<p>3 生息環境管理 (1) 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業等の研修会により、取組を推進した。</p> <p>(2) 活用できる補助事業の情報をホームページに掲載し、周知を図った。また、各種関連会議で情報提供を行った。</p>	<p>農山漁村なりわい課 計画通り実施できた。 引き続き、地域における取組を推進する。</p> <p>森林整備課 引き続き、補助事業等の周知を図り、農地周辺の未整備森林の解消を支援していく。</p>	

R1計画	R1実績	評価
<p>(3) モニタリング調査            生息状況調査            現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査            GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査            各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>(3) 委託契約額 金3,410,000円(税込)            受託者 合同会社東北野生動物保護管理センター            ※主に23群で個体数推定,31群で評価の再検討            県内生息群数:60群 個体数:3,251頭(金華山野生群含む)</p> <p>ロ 加美郡「小野田A群」「寒風沢の群れ」を対象として、GPS首輪を装着して行動追跡調査を実施した。遊動域に耕作地は殆ど含まれていなかった。</p> <p>ハ 市町村の捕獲個体や発信機装着・更新状況を把握した。また、有害鳥獣捕獲に伴い、頭数減少や群れ消滅が確認された。</p>	<p>自然保護課            今後もモニタリング調査を継続し、動向を把握する必要がある。</p> <p>自然保護課            今後もGPS首輪を用いた調査を継続し、動向を把握する必要がある。</p> <p>自然保護課            今後も各市町村と情報を共有していく必要がある。</p>
<p>4 その他            (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。            (計画作成済み市町村 サル対象13市町)            ※ H30.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p>	<p>4 その他            (1) サルを対象鳥獣とする7市町について、計画の策定を支援した。            (登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町、涌谷町、色麻町が計画変更、白石市が計画更新)</p> <p>(2) 鳥獣交付金担当者1名を国の研修に派遣し、職員の育成に努めるとともに、各地域での被害対策を推進した。</p> <p>(3) 地方振興事務所で研修会等を開催した。</p> <p>(4) 県の調査結果の情報提供及び計画書作成指導を行った。</p> <p>(5) 保護管理の実施状況等の情報交換を行った。</p>	<p>農山漁村なりわい課            計画通り実施できた。            引き続き、計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>農山漁村なりわい課            計画通り実施できた。            引き続き、農作物被害対策の指導を担う職員を養成し地域での対策を推進する。</p> <p>農山漁村なりわい課            計画通り実施できた。            引き続き、連携会議等により広域的な被害対策を推進する。</p> <p>自然保護課            市町村の他、関係団体等との連携も必要</p> <p>自然保護課            自然保護等による情報交換を行うなど、今後も連携を図っていく必要がある。</p>

R1計画	R1実績	評価
<p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じて公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地、集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じて普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(6) 管理計画をホームページで公表するとともに、群れの生息状況等についても公表した。</p> <p>(7) イ 部会を1回開催し、県及び該当市町村の事業実施計画等について検証を行った。</p> <p>ロ 検討・評価委員会を1回開催し、県及び該当市町村の事業実施計画等について検証を行った。</p> <p>(8) 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>自然保護課 計画書の公表のほか、群れの生息状況なども今後公表していく必要がある。</p> <p>自然保護課 特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後も継続していく。</p> <p>林業振興課 生産者のニーズに応じて引き続き、被害防止技術を提供する。</p>





令和3年度

ニホンザル管理事業実施計画書(案)

令和2年7月

宮城県環境生活部自然保護課



# 令和3年度ニホンザル管理事業実施計画(案)

宮城県

※下線はR2計画からの変更箇所

R2計画	R3計画(案)	備考
<p>1 被害防除対策 (1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防除総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策 (1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防除総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>
<p>2 個体数管理 (1) 有害捕獲 鳥獣被害防除総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟, わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p>2 個体数管理 (1) 鳥獣被害防除総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟, わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>
<p>3 生息環境管理 (1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防除対策に関する研修会により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域において活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>3 生息環境管理 (1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防除対策に関する研修会により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>

R2計画	R3計画(案)	備考
<p>4 その他</p> <p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象16市町) ※ R元.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要ことから、実施状況についてホームページ等を通じて公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。</p> <p>イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会</p> <p>管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>4 その他</p> <p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象15市町) ※ R元.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要ことから、実施状況についてホームページ等を通じて公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。</p> <p>イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会</p> <p>管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業振興課</p>

令和元年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

白石市	14 ページ
角田市	15 ページ
蔵王町	16 ページ
七ヶ宿町	17 ページ
川崎町	18 ページ
丸森町	19 ページ
仙台市	20 ページ
山元町	21 ページ
加美町	22 ページ

令和2年7月

宮城県環境生活部自然保護課

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

白石市

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>2.61 ha 2.90 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>2,947 千円 3,275 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、果樹等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>2.35 ha</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(2) 金額</p> <p>2,970 千円</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類</p> <p>(4) その他</p>	<p>対策の成果で被害が減少したと思われ、出没範囲が拡大しており、引き続き追い上げや捕獲、防除対策を強化していく。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助</p> <p>(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。追い払い用火を配布した。</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。</p> <p>(3) 研修会を市内3地区で開催した。</p>	<p>R1年度被害対策費合 4648 千円 花火に慣れた個体や群れもあり、効果が一時的である。 38件1,708,000円を補助し、被害を軽減できた。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 30 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p> <p>(1) (2)</p>	<p>30頭捕獲し被害を軽減できた。 「猿鼻の群れ」1頭の発信機を更新し、「新町群の集団」1頭に装着した。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。</p> <p>(2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 研修会を開催し、水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。</p> <p>(2) 研修会を開催し、山林側の除草作業を推進するよう、啓発を図った。</p>	<p>費用対効果の面で積極的ではなかったり、耕作放棄地も増加しており、地域全体の環境管理が進まない。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	

令和元年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

角田市

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		
(1) 面積(下段前年度)	0.00 ha	(1) 面積	0.00 ha	ハナレザルによる農作物被害の発生はあったが、軽微なものであった。 実施隊員による追い払い、定期パトロール等、また、農業者による追い払いにより被害を最小限にとどめることができた。
(2) 金額(下段前年度)	0千円	(2) 金額	0千円	
(3) 作物		(3) 作物		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		R1年度被害対策費合計 786千円
(1) 食べない果実等放置の防止を周知		(1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけた。		住民に対し、食物残さや収穫物を二ホンザルが発見しやすい場所に置かないなど、被害隊員が寄せない対策を推奨することともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払い等により、ごく軽微な被害にとどめた。
(2) 定期的にパトロールの実施		(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。		
(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施		(3) 定期的パトロール時や出役時に追い払い、捕獲を実施した。捕獲はなかった。		
(4) 被害内容に応じた諸対策の提案		(4) 被害相談等の際し、自宅の戸締りや同作業場に収穫作物を置かないことを指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。		
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による目標捕獲数	頭	個体数調整による捕獲数	頭	捕獲実績はなかったが、昨年に引き続き捕獲に努めたが捕獲はなかった。しかし、結果として巡回による被害抑止が図られた。
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	15頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	0頭	
発信機装着の増設数	頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	頭	
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大		(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。		実施隊員による定期パトロールは、地域の出役情報の収集や被害抑止に効果的であり、生息環境の拡大防止に有効と推量される。
(2)		(2)		
5 その他		5 その他		
(1) 住民の被害防止意識の啓発		(1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。		依然として住民の被害防止意識の向上が課題であり、引き続き被害防止のための備え等、意識向上に努めていくことが引き続き重要な視点と思量される。

令和元年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

蔵王町

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積 (下段前年度) 0.01 ha 0.01 ha (2) 金額 (下段前年度) 37 千円 29 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他</p> <p>2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>1 被害状況 (1) 面積 0.01 ha 0.01 ha ※蔵山漁村なりわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (2) 金額 22 千円 ※蔵山漁村なりわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋 (4) その他</p> <p>2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 捕獲実績 3頭 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請は行われなかった。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。</p>	<p>山の実りは悪かったものの、防除対策を強化することにより、里山への出没が少なくなり、農作物への被害が前年度より減少した。 結果、被害面積は目標値を達成し、被害金額も目標値の約60%と大きく下回ることができ、目標を達成できた。</p> <p>R1年度被害対策費合計 13,416 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 9,566千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,983千円 ・蔵王町狩猟免許取得促進事業補助金 400千円</p> <p>近年、サルの目撃情報が徐々に増加しており、現在までサルの目撃報告がなかった地域でもハナレサルが目撃報告が寄せられているため、今後も追払い活動や防除対策等を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していきたい。</p>
<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)</p>	<p>3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 3 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 従来のテレメトリー法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を実施した。 (2)</p>	<p>今後もGPS発信機を用いた生息調査を継続的に実施し、群れの個体数や活動域、利用地域の変化を追うだけでなく、群れにより詳細な利用場所の把握を試み、今後の対策や方針を検討するための基礎データを収集していく。</p>
<p>4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。 (2)</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。 (2)</p>	<p>山の実りは悪かったものの、防除対策を強化することにより、里山への出没は少なくなかった。また、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出没を大幅に減少させる効果がみられた。</p>
<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>	<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。</p>	<p>今後も引き続き南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。</p>



令和元年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.31 ha 0.37 ha (2) 金額(下段前年度) 275 千円 344 千円 (3) 水稻、野菜の被害の軽減 (4) その他</p>	<p>1 被害状況 (1) 面積 1.49 ha ※農山漁村なりわり課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (2) 金額 1,369 千円 ※農山漁村なりわり課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (3) 作物 水稻、野菜、豆類 (4) その他</p>	<p>昨年度と比べ被害面積及び被害額が増加し、野菜・果樹を中心に被害の増加が見られた。要因としては、電気柵とワイヤーメッシュの複合柵の整備、電気柵等設置に係る費用の補助が考えられ、今後も継続して行う。</p>
<p>2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施</p>	<p>2 被害防除対策 (1) 電気柵等の設置の推奨を行った。 (2) 追い払い活動を重点的に行った。 (3)</p>	<p>R1年度被害対策費合計 64,195 千円 電気柵等の設置により被害を減少するに至ったが、未設置の田畑を中心に被害があった。電気柵等設置の推奨を今後も継続して行う。</p>
<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施 (2)</p>	<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施 (2)</p>	<p>前年度に引き続き、発信器の装着を行った。また、計画頭数には達さなかったものの昨年と比較して倍の頭数捕獲できた。</p>
<p>4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 指導を行ったが、未収獲野菜等の放置が見受けられた。 (2) 広報を行ったが、大幅な軽減には至らなかった。</p>	<p>指導方法の改善及び周知の徹底、追い払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある。</p>
<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施</p>	<p>5 その他 (1) 効率的な追い払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。</p>	<p>今後も継続して、効率的な追い払い活動及び生息調査の実施を行う。</p>

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		人里に下りてきて、農地を荒らしている光景が多く確認された。 被害報告をしない農家等が増えている。
(1) 面積(下段前年度)	0.15 ha 0.22 ha	(1) 面積 ※農山漁村なりわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること	0.34 ha	
(2) 金額(下段前年度)	124 千円 178 千円	(2) 金額 ※農山漁村なりわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること	161 千円	
(3) 作物		(3) 作物 果樹、飼料用作物、野菜類		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		R1年度被害対策費合計 20,610 千円 ①H31農作物有害鳥獣駆除対策業務金 2,803千円 ②サルパトロール 1,360千円 ③電気柵補助金 16,447千円 (イノシシ、ツキノアブダマ、ニホンザル含む)
・実施隊による捕獲活動の実施		畑の周辺の山に住み着いている群れがあり、捕獲活動のみでは被害の減少には至らなかった。今後農家にも防除方法を指導していき、地域での防除を図りたいと思う。		
・電気柵の普及、補助				
・広報等での有害鳥獣の対策紹介				
・実施隊による週一回の町内パトロール				
3 個体数管理		3 個体数管理		捕獲頭数は昨年と比較して、増加している。
個体数調整による目標捕獲数	頭	個体数調整による捕獲数	頭	
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	50 頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	37 頭	
発信機装着の増設数	2 頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	2 頭	
		生息域の調査を行った。		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施しなかった。
看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		
5 その他		5 その他		

令和元年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

丸森町

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.04 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 51 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.08 ha ※農山漁村なわいらい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (2) 金額 179 千円 ※農山漁村なわいらい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (3) 作物 水稲、豆類、野菜、いも類 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.04 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 51 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.08 ha ※農山漁村なわいらい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (2) 金額 179 千円 ※農山漁村なわいらい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること (3) 作物 水稲、豆類、野菜、いも類 (4) その他	・鳥獣被害対策実施隊が銃器による追払い及び捕獲を2人体制で実施（年間延べ184日）したほか、サル追いやパトロール員による花火を使った追払い（週4日間）を実施し、一定の効果をj得ている。 ※昨年度は台風19号の影響により実施隊員も被災したため10/12～11/20の間、出動を一時休止していた ・役場に寄せられた住民からの通報内容を、実施隊員及びパトロール員にいち早く連絡したことで、追払い活動や捕獲につながるなど、一定の効果をj得ている。
2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火火の無料配布（希望者） (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助（申請なし） ・追払い用火火の無料配布（希望者） (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助（申請なし） ・追払い用火火の無料配布（希望者） (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助（申請なし） ・追払い用火火の無料配布（希望者） (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 (3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施	R1年度被害対策費合計 4,826 千円 ・電気柵設置に対する補助 67千円 ・追払い用火火、鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 3,340千円 ・追払いパトロール員による花火での追払いの実施 1,419千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)	・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的にj行われている。
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。 (2)	・8月1日に町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付により、農作物の被害防止の啓発を図る。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付により、農作物の被害防止の啓発を図る。	・南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に参加し、県境を越えた被害対策などについて連携を図った。

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

仙台市

R1計画	R1実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 9a未満 (2) 金額 120千円未満 (3) 作物 水稻、長ねぎ、大根、白菜、りんご等 (4) その他 (人身被害・生活被害) 生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 3.17a (2) 金額 30千円 (3) 作物 大根、とうもろこし、かぼちや、きゅうり等 (4) その他 (人身被害・生活被害) チラシ等を活用し、サルのエサとなる誘引物(果樹や農作物の残さ等)の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を実施。</p>	<p>被害面積及び金額について、目標を達成することができた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起 ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報の群れの位置情報を提供 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市HPへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発 ・出没が多い地域の地区まつり等で啓発 (2) 出没情報を受けた際の対応 ・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導 ・必要に応じて、火花による追い払いを実施 ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起 ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供 ・市ホームページに加え、チラシをリニューアルし、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発 ・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わなによる捕獲のほか、大規模追い上げ・捕獲及び小規模追い上げ・捕獲を実施。 (2) 出没情報を受けた際の対応 ・必要に応じて、火花による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施 ・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わなによる捕獲のほか、大規模追い上げ・捕獲及び小規模追い上げ・捕獲を実施。</p>	<p>R1年度被害対策費合計 6,996千円</p> <p>計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、新たにサルの群れの動向を地域の方向けに公開する「サル群れ情報マップ」を提供。</p>
<p>3 個体管理</p> <p>目標捕獲数 130頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 15頭 (GPS発信機1機を含む)</p> <p>(1) 群れの位置情報の把握 ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握 (2) 捕獲対策 (人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応) ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施 ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施 (秋保地区:2基、宮城地区:2基) ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施 (捕獲に重点を置いて実施)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 80頭 発信機装着の増設・更新数 16頭</p> <p>(1) 群れの生息状況管理 ・市内に生息する群れ16群のうち、12群に電波発信機を装着。 (2) 捕獲対策 (人里に馴れ、奥山に戻らない群れへの対応) ・箱わなによる捕獲 30頭 ・大型捕獲施設による捕獲 25頭 ・銃器による捕獲 32頭</p>	<p>個体数調整による捕獲数は目標を下回ったものの、秋保地区と宮城地区で合計4基の大型捕獲施設を稼働したことにより、大型捕獲施設による捕獲数は全体の3分の1程度を占めている。また、電波発信機の装着については、目標以上の装着となった。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市HPや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。 ・市ホームページやチラシを活用しサルとの適切な接し方や被害防止対策について、広報啓発。</p>	<p>計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>

令和元年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

R1計画		R1実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		
(1) 面積(下段前年度)	0.04 ha 0.00 ha	(1) 面積	0.00 ha	
(2) 金額(下段前年度)	100 千円 0 千円	(2) 金額	0 千円	少類ではあるが農作物への被害があったほか、植木、生活用品等へのいたずらがあつたことから、1頭の捕獲を行った。
(3) 作物	リンゴ、野菜	(3) 作物		住民からの目撃情報等があれば迅速に対応していく必要がある。
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		R1年度被害対策費合計 3,453 千円
(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。		(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。		被害等が増えるようであれば様々な防除策を検討する必要がある。
(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。		(2) サルの目撃情報の周知を行い、事前の防除を促した。		
(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。		(3)		
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による目標捕獲数	10 頭	個体数調整による捕獲数	頭	
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	1 頭	
発信機装着の増設数	頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	頭	発信機装着の更新基数	頭	
(1) これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のためには必要がある。		(1) 被害が拡大するようであれば個体数調整のためには必要がある。		平成31年度捕獲頭数においては、1頭の捕獲を行った。今後も初動対応として追い払い用の花火を農家個々で実施してもらい、それでも被害が拡大するようであれば捕獲等の対応をしていく必要がある。
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) リンゴ等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		(1) リンゴ等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		放置した農作物が誘因の原因(餌付け)になっていることも考えられているため、引き続き農家に周知を徹底する必要がある。
5 その他		5 その他		

令和元年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

R1計画		R1実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>3.77 ha 1.57 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>507 千円 368 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、果樹、いも類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>8.70 ha</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(2) 金額</p> <p>2,434 千円</p> <p>※農山漁村なわい課に報告している被害防止計画の数値と整合性をとること</p> <p>(3) 作物 水稲・野菜・果樹・イモ類・大豆・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害面積及び被害額が増加した。これまで確認できていた群情報と変わり頭数の増加や生息域も若干変わってきていると感じる。</p>		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成</p> <p>(3) 音花火による追払い</p> <p>(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇</p> <p>(5) サル用囲いワナによる捕獲</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止</p> <p>(2) ワイヤメッシュ柵による農地への侵入防止</p> <p>(3) 音花火による追払い</p> <p>(4) サル用囲いワナ、銃器による捕獲</p>	<p>R1年度被害対策費合計 1,844 千円</p> <p>これまでにサル被害が無かった地区に被害が発生してきている。</p>		
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 実施隊によるパトロール</p> <p>(2)</p>	<p>サル用囲いワナにて20頭の捕獲で効果が上げられている。</p>	<p>頭</p> <p>頭</p> <p>50 頭</p> <p>頭</p> <p>頭</p> <p>頭</p> <p>頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2)</p>	<p>宮城県調査事業でサルの生息調査を実施。</p>		
<p>5 その他</p> <p>(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動周知</p>			

令和2年度

ニホンザル管理事業実施計画書(市町村実施分)

白石市	24 ページ
角田市	25 ページ
蔵王町	26 ページ
七ヶ宿町	27 ページ
川崎町	28 ページ
丸森町	29 ページ
仙台市	30 ページ
山元町	31 ページ
加美町	32 ページ

令和2年7月

宮城県環境生活部自然保護課

令和2年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

白石市

R1計画	R2計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>0.94 ha 2.90 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>2,158 千円 3,275 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、果樹等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>2.81 ha 2.35 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>3,166 千円 2,970 千円</p> <p>(3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類</p> <p>(4) その他</p>	<p>農山漁村なりわい課へ提出の鳥獣被害防 止計画と整合を図るためR1計画修正</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助</p> <p>(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助</p> <p>(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	<p>年間被害対策費合計 33,408 千円</p> <p>※他の鳥獣との合計額</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。</p> <p>(2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。</p> <p>(2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る</p>	



令和2年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

角田市

R1計画	R2計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.00 ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 0 千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.00 ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 0 千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 食べない果実等放置の防止を周知</p> <p>(2) 定期的なパトロールの実施</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p> <p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 15 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭</p> <p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大 (2)</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知</p> <p>(2) 定期的パトロールの実施</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p> <p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 10 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭</p> <p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大 (2)</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	<p>年間被害対策費合計 791 千円</p>

令和2年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

R1計画	R2計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>0.01 ha 0.01 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>37 千円 25 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>0.01 ha 0.01 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>37 千円 22 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>面積は平成28年度の50%、金額は平成28年度の90%に抑えることを目標としている。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>年間被害対策費合計 13,847 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 8,900千円</li> <li>・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 4,070千円</li> <li>・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 877千円</li> </ul>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施。</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施。</p> <p>(2)</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p> <p>(2)</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>	

令和2年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

R1計画		R2計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.31 ha 0.37 ha (2) 金額(下段前年度) 275 千円 344 千円 (3) 水稻、野菜の被害の軽減 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 6.30 ha 1.49 ha (2) 金額(下段前年度) 247 千円 1,369 千円 (3) 水稻、野菜の被害の軽減 (4) その他	昨年実績の2割減を目標とする。 昨年実績の2割減を目標とする。 七ヶ宿町の特産である水稻の被害軽減は重要課題であり、電気柵等の設置の推奨及び定期的な見回りの徹底を指導する。	年間被害対策費合計 61,920 千円 電気柵等の設置を促し、管理・見回りについても指導を行う。また、町単独事業で電気柵等の設置及び購入に係る費用の5分の4を補助する。 なお、常時払い払い活動を実施し、二ホンザルとの境界を明確にする。	
2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施	2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施			
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 200 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 生息調査の実施 (2)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 生息調査の実施 (2)		七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に基づき明記。 生息調査の実施により、群れの流動域や個体数を把握し、農作物の被害軽減を図る。	
4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減			行政区長や防災無線、広報誌等を活用し周知・徹底を図る。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施			南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会に参画し、隣接自治体等と情報共有を図り、効果的な被害対策を実施する。

令和2年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

R1計画	R2計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.15 ha 0.22 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 124 千円 178 千円</p> <p>(3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・か</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.24 ha 0.34 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 113 千円 161 千円</p> <p>(3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・か</p> <p>(4) その他</p>	<p>昨年と比較して約3割削減を目標としている。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・広報等での有害鳥獣の対策紹介 ・実施隊による週一回の町内パトロール</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助</p>	<p>年間被害対策費合計 21,984 千円</p> <p>①R2農作物有害鳥獣駆除対策業務金 3,324千円 ②サルパトロール 1,260千円 ③電気柵補助金 17,000千円 ④狩猟免許取得補助金 400千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 1 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

令和2年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

R1計画		R2計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.04 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 100 千円 51 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.08 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 100 千円 179 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご</p> <p>(4) その他</p>			
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火火の無料配布(希望者)</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p> <p>(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火火の無料配布(希望者)</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p> <p>(3)</p>			<p>年間被害対策費合計 6,458 千円</p> <p>・電気柵設置に対する補助 66千円 ・追払い用火火、鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施 6,392千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 20 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) (2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 20 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) (2)</p>			
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p> <p>(2)</p>			
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。</p> <p>(2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。</p> <p>(2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>			

令和2年度ニホンザル管理事業実施計画

仙台市

R 1 計画	R 2 計画	備考
<p><b>1 被害軽減目標</b>                      (1) 面積 9a未満                      (2) 金額 120千円未満                      (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等                      (4) その他(人身被害・生活被害)                      生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p><b>1 被害軽減目標</b>                      (1) 面積 9a未満                      (2) 金額 120千円未満                      (3) 作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等                      (4) その他(人身被害・生活被害)                      生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>仙台市鳥獣被害防止計画(平成29年度策定)における被害軽減目標(平成32年度)の達成を図る。</p>
<p><b>2 被害防除対策</b>                      (1) 日常的な啓発・注意喚起                      ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市H.Pへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発                      ・出沒が多い地域の地区まつり等で啓発                      (2) 出沒情報を受けた際の対応                      ・出沒地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導                      ・必要に応じて、火花による追い払いを実施                      ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p><b>2 被害防除対策</b>                      (1) 日常的な啓発・注意喚起                      ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市H.Pへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発                      ・出沒が多い地域の地区まつり等で啓発                      (2) 出沒情報を受けた際の対応                      ・出沒地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導                      ・必要に応じて、火花による追い払いを実施                      ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	
<p><b>3 個体数管理</b>                      目標捕獲数 130頭                      発信機装着の増設・更新数 15頭 (GPS発信機1機を含む)                      (1) 群れの位置情報の把握                      ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握                      (2) 捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)                      ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施                      ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(秋保地区:2基、宮城地区:2基)                      ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施(捕獲に重点を置いて実施)</p>	<p><b>3 個体数管理</b>                      想定捕獲数 130頭                      発信機装着の増設・更新:15頭 (GPS発信機1機を含む)                      (1) 群れの位置情報の把握                      ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握                      (2) 捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)                      ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施                      ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(4基)                      ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</p>	
<p><b>4 生息環境管理</b>                      ・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市H.Pや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p>	<p><b>4 生息環境管理</b>                      ・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施                      ・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市H.Pや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p>	
<p><b>5 その他</b></p>	<p><b>5 その他</b></p>	

令和2年度二ホンザル管理事業実施計画 (市町村分)

山元町

R1計画		R2計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.04 ha 0.00 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.03 ha 0.00 ha (2) 金額(下段前年度) 108 千円 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他			
2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。	2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。			年間被害対策費合計 1,137 千円 実施隊日当、サル捕獲に係る経費(箱罠リース、捕獲作業委託料)等
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲する必要がある。	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 昨年度に1頭の捕獲を行った。今後、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲する必要がある。			住民からの目撃情報や被害状況があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。
4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。	4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。			
5 その他	5 その他			

令和2年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

加美町

R1計画	R2計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 3.77 ha 1.57 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 507 千円 368 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、果樹、いも類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 1.25 ha 8.70 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 371 千円 2,434 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、果樹、イモ類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1割から2割の軽減を目標とする。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成</p> <p>(3) 音火花による追払い</p> <p>(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇</p> <p>(5) サル用囲いわなによる捕獲</p> <p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止。</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成。</p> <p>(3) 音火花による追払い。</p> <p>(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇</p> <p>(5) サル用囲いわなによる捕獲</p> <p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>年間被害対策費合計 24,506 千円</p> <p>町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用する。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	<p>広報誌等での警護活動</p>